

各位

株式会社 九電工

サステナビリティ基本方針及び重要課題（マテリアリティ）の制定について

当社グループは、企業理念と長期ビジョンに基づき、地球環境や社会、経済などに配慮しながら長期的な視点で企業価値の向上に、より一層注力していくため、この度、サステナビリティ基本方針及び重要課題（マテリアリティ）を制定しましたので、お知らせいたします。

今後、当社グループは、サステナビリティ基本方針のもと、重要課題（マテリアリティ）について計画的かつ積極的な取り組みを推進し、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

□ サステナビリティ基本方針

九電工グループは、企業理念のもと、事業活動を通じ社会課題を解決することによって、持続可能な社会づくりと当社グループの企業価値の向上を実現してまいります。

□ 重要課題（マテリアリティ） 11項目

E（環境）	・クリーンエネルギー普及・拡大への貢献
	・省エネへの貢献
	・自社の2050年カーボンニュートラルの実現
S（社会）	・多様な価値観を受容し、個々の能力を最大限発揮できる環境の創出
	・安全最優先で働きがいのある職場づくり
	・人的総合力（業務遂行力・人間力・創造力〔考える力〕）の強化
	・電力の安定供給や設備工事等を通じた地域インフラの維持・発展
	・自然災害に強いインフラ整備へ技術力で貢献
	・技術開発と積極的な協業による新たな価値の創出
G（ガバナンス）	・循環型社会形成への貢献
	・公正で透明性の高い事業活動の実践

※上記、サステナビリティ基本方針及び重要課題（TCFD提言に基づく情報開示を含む）につきましては、12月発刊予定の『統合報告書 KYUDENKO REPORT 2022』の中で、より詳しく掲載いたします。

以上

【お問い合わせ先】

株式会社 九電工 環境経営推進室
担当：門脇、沼口 TEL:092-523-0312

■ サステナビリティ基本方針

当社は、「1. 快適な環境づくりを通して社会に貢献します。」「2. 技術力で未来に挑戦し、新しい価値を創造します。」「3. 人をいかし、人を育てる人間尊重の企業をめざします。」を企業理念に掲げ、事業運営を行っています。また、創立100年（2044年）に向けた長期ビジョンを策定し、社会課題の解決や脱炭素社会の実現、地域公共インフラの維持・発展に取り組むことによって、社会的価値と経済的価値の両立をめざしております。

この企業理念と長期ビジョンに基づき、地球環境や社会、経済などに配慮しながら長期的な視点で企業価値の向上に、より一層注力していくため、サステナビリティ基本方針及び重要課題（マテリアリティ）を制定しました。

今後、当社グループは、サステナビリティ基本方針のもと、重要課題（マテリアリティ）について計画的かつ積極的な取り組みを推進し、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

【 基本方針 】

九電エグループは、企業理念のもと、事業活動を通じ社会課題を解決することによって、持続可能な社会づくりと当社グループの企業価値の向上を実現してまいります。

重要課題（マテリアリティ）

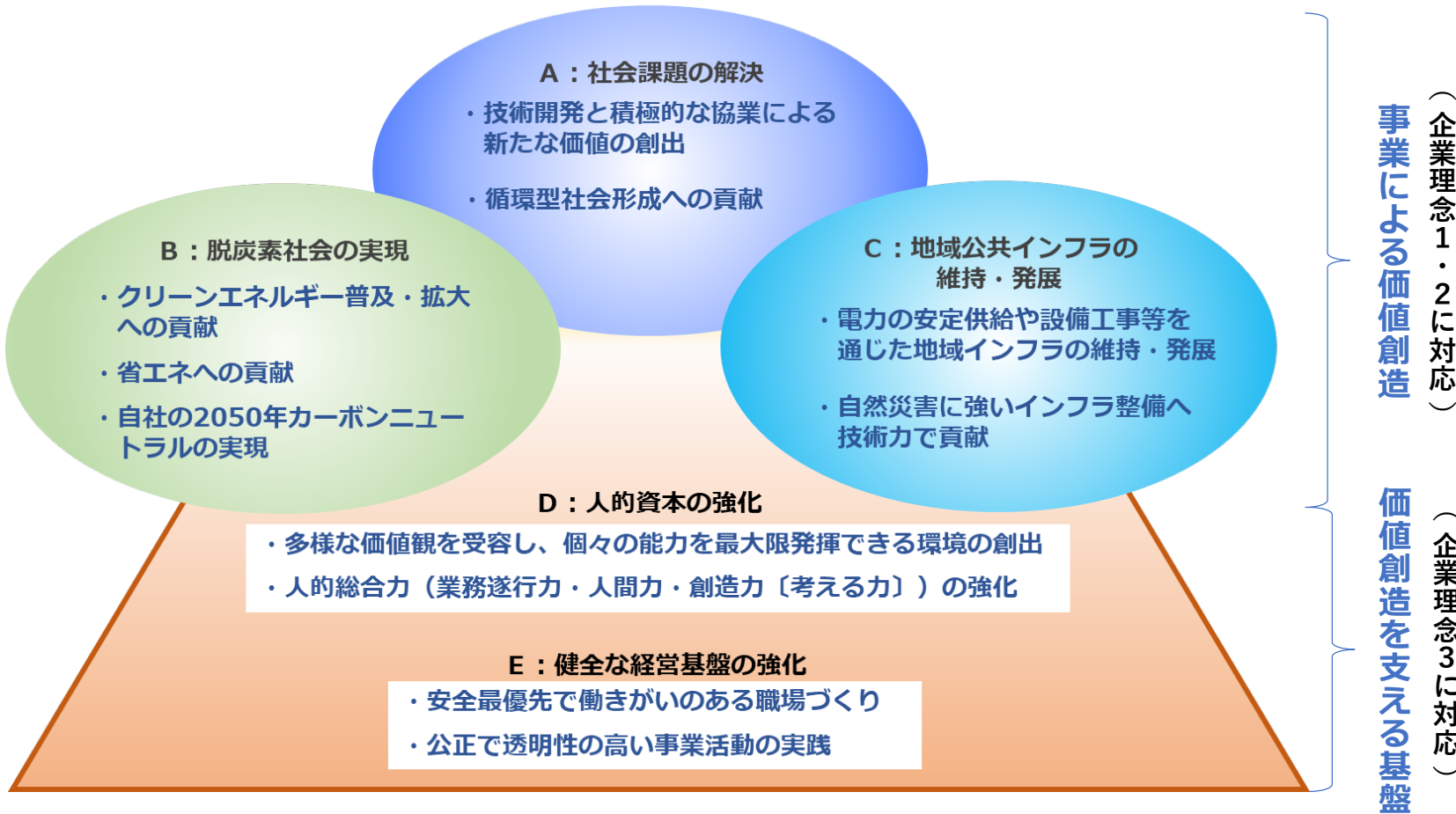
社会的課題		重要課題（マテリアリティ）	体系図	SDGs	施策の方向性
E （環境）	気候変動 脱炭素社会 エネルギー	クリーンエネルギー普及・拡大への貢献（※）	B	   	創エネルギー関連工事・事業の推進（太陽光・風力・バイオマス発電、PPA、EMS等）
		省エネへの貢献（※）	B	 	省エネルギー関連工事の推進（エネルギー効率向上（ES）工事、EV充電設備、ZEB、省エネ設備の提案等）
		自社の2050年カーボンニュートラルの実現（※）	B		T C F Dへの対応、自社のCO2排出量の削減
S （社会）	ダイバーシティ 労働慣行 雇用 人権	多様な価値観を受容し、個々の能力を最大限発揮できる環境の創出	D	   	ダイバーシティ&インクルージョンの推進、多様で柔軟な働き方の構築、人権の尊重
	労働安全衛生	安全最優先で働きがいのある職場づくり	E	 	重要災害の撲滅、健康経営の推進、従業員エンゲージメントの向上
	教育と研修	人的総合力（業務遂行力・人間力・創造力〔考える力〕）の強化	D		人財育成の強化、多様なキャリアマップの構築
	地域コミュニティ	電力の安定供給や設備工事等を通じた地域インフラの維持・発展	C	   	既存事業を通じた社会インフラの維持・発展
	防災	自然災害に強いインフラ整備へ技術力で貢献	C	 	災害に強いまちづくり、災害復旧、被災地支援、地域貢献活動
	イノベーション	技術開発と積極的な協業による新たな価値の創出	A		新たな事業領域の創出、生産性の向上、DX・技術開発への投資推進、オープンイノベーションの推進、M&Aの推進、
	廃棄物	循環型社会形成への貢献	A		3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進、グリーン購入の推進
G （ガバナンス）	組織統治 腐敗防止 コンプライアンス 公正な事業慣行 反競争的な行動	公正で透明性の高い事業活動の実践	E	 	コーポレートガバナンスの強化、コンプライアンスの遵守、情報セキュリティマネジメントの実践、リスクマネジメントの強化、サプライチェーンにおける公正な取引の徹底

(注) 1. (※) 環境に関する項目… T C F D（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言に基づく情報開示を行います。

2. 体系図… A：社会課題の解決 B：脱炭素社会の実現 C：地域公共インフラの維持・発展 D：人的資本の強化 E：健全な経営基盤の強化

3. 重要課題（マテリアリティ）については、今後の社会情勢の変化等により、必要に応じて見直しを行います。

重要課題(マテリアリティ)体系図



企業理念とコーポレートカラー

1. 快適な環境づくりを通して
社会に貢献します

ソーシャル・グリーン

2. 技術力で未来に挑戦し、
新しい価値を創造します

テクニカル・ブルー

3. 人をいかし、人を育てる
人間尊重の企業をめざします

ヒューマン・レッド